

# 県外学校訪問 報告

平成29年度学校自主研修事業  
(特色ある学校づくり) に係る学校訪問

平成29年度訪問校  
神奈川県立足柄高校, 神奈川県立厚木西高校  
神奈川県立茅ヶ崎高校 (定時制)

日程 : 平成29年9月21,22日  
参加者 : 弘瀬, 羽田

## インクルーシブ教育

障がいのある者とない者が可能な限り共に学ぶ仕組み



今年度の訪問校

インクルーシブ教育実践推進校  
(パイロット校)

神奈川県立足柄高校

神奈川県立厚木西高校

神奈川県立茅ヶ崎高校

# 神奈川県インクルーシブ教育について

神奈川県では、共生社会の実現に向け、障がいのあるなしにかかわらず、できるだけすべての子どもが同じ場で共に学び、共に育つことをめざす、インクルーシブ教育の推進のための教育環境づくりを進めます。

(『かながわ教育ビジョン』H29年10月)



## 平成29年度からパイロット校3校で実践開始

### 「連携型中高一貫教育」

→ 一般募集とは別に、地域内で連携する中学校に在籍する生徒に限定した「連携募集」による入学者選抜

# 連携型中高一貫教育について

## ● 出願資格

- ・ 連携する中学校（9～13校）に在籍し、療養手帳判定基準B2に該当する程度の知的障害があり、中学校の校長の推薦を得た生徒で、

次のア～オの全てに該当する生徒

ア 学級集団での学習及び生活が可能な生徒

イ 学校生活において、原則として医療ケア等を要さない生徒

ウ 公共交通機関等を利用して、自力での通学や校外における学習活動への参加が可能な生徒

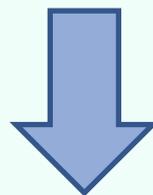
エ 志願先の高校が実施する連携・交流事業に参加するなど、入学の意欲のある生徒

オ 入学後、将来の自立に向けて、学校生活に積極的に取り組む意欲のある生徒

# 連携型中高一貫教育について

## ● 入学者選抜

- ・ 日程 神奈川県公立高等学校の共通選抜の日程に準じて実施
- ・ 方法 学力検査は実施せず、面接のみ実施



平成29年度入試からから実施，受け入れ  
足柄高校，厚木西高校，茅ヶ崎高校

# インクルーシブ教育の実践

どんな教育課程？

どんな授業？

どんな工夫？

# どんな教育課程？

## 基本のスタンス

現行の教育課程を基本とした上で、生徒一人ひとりの状況に応じ、必要な配慮を行いつつ指導に取り組めます。

※「高校通級」とは別物



一般生徒と、ほぼ同じ教育課程

学校設定科目として「自立活動」「自立支援科目」

ex.職業と生き方，職業Ⅰ（厚木西）

社会接続AⅠ（足柄）

丸抱えではなく、  
「高校生として」育てる

# どんな教育課程？ 厚木西高校の教育課程表

単位		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
1年	共通	国語総合			現代社会		★ 数学Ⅰ		★ 数学Ⅰ 職業と 生き方Ⅰ		数学Ⅰ		物理 基礎		生物 基礎		体育		保健	音楽Ⅰ 美術Ⅰ		コミュニケーション英語Ⅰ		★ 英語 表現Ⅰ		家庭基礎		社会と 情報		総合的な 学習	L H R	
	文 理	現代文B		世界史A		古典B			★ 数学Ⅱ			日本史B			化学 基礎		体育		保健	コミュニケーション英語Ⅱ		★ 英語 表現Ⅱ		★ 音楽Ⅱ 美術Ⅱ 職業Ⅱ		★ 音楽Ⅱ 美術Ⅱ 職業Ⅱ		総合的な 学習	L H R			
3年	文	現代文B		発展古典			政治経済			世界史B			地理B		日本史特論		体育		コミュニケーション英語Ⅲ		英語 表現Ⅱ		※ 自由 選択 科目		※ 自由 選択 科目		総合的な 学習	L H R				
	理Ⅰ	現代文 B	日本史 A		★ 数学Ⅲ			化学			物理発展		生物発展																			
	理Ⅱ	現代文 B	日本史 A		政治 経済		★ 数学Ⅲ 数学概論			物理発展			生物発展																			

丸印をつけたのが、学校設定科目

# どんな教育課程？

## 評価方法

# 観点別評価 + 個人内評価

### ● 個人内評価

全員の個別教育計画を作成、  
科目ごとの個別支援計画

ケース会議に中学校、児相、医療機関などが参加

特別支援教育のノウハウを  
応用、  
支援学校からの人事異動

# インクルーシブ教育の実践

どんな教育課程？

どんな授業？

どんな工夫？

# どんな授業？

## 基本のスタンス

現行の教育課程を基本とした上で、生徒一人ひとりの状況に応じ、必要な配慮を行いつつ指導に取り組みます。



2人担任制  
3人担任制

ユニバーサル  
デザイン

ICTの  
活用

全授業  
TT化

リソース  
ルームの  
活用

# どんな授業？ リソースルーム

リソースルーム = 個別学習支援室



別室で授業を受ける体制が整っている。

TTの先生がつくことができる。

習熟度別授業の一つ  
という考え方

# どんな授業？ リソースルーム



学校設定科目の自立活動  
の授業もここで行う

清掃検定の練習用

このほか、ビジネスマ  
ナー、PC検定の実技指  
導の授業なども行って  
いる

# インクルーシブ教育の実践

どんな教育課程？

どんな授業？

どんな工夫？

# どんな工夫？

## “すべての生徒のために”

すべての教育活動をユニバーサルデザイン化する

### 授業づくり

ゆっくり丁寧な授業

漢字にふりがな

アクティブラーニング

### 授業のパターン化

授業展開をパターン化し、  
身通しをもって授業に取り  
組ませる。

# どんな授業？ そのほか工夫

フロントゼロ

ユニバーサルデザイン化

本時の目標マグネット

見通しをもたせる授業づくり

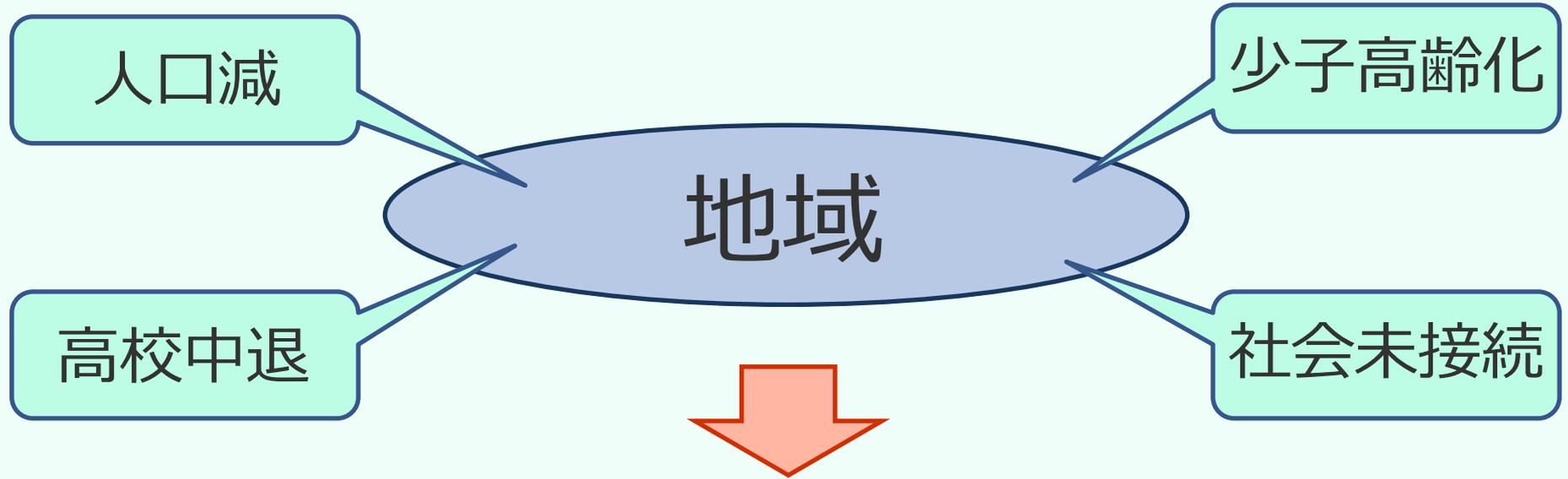
ITの活用

習熟度の違いをカバー

中学校との連携

- ・ 中学校から授業に出られるように働きかける（連携）
- ・ 中学校からインクルーシブ教育への理解（一般生徒）  
「みんなの教室」
- ・ 学校の取り組みを中学校へ「見える化」する

# インクルーシブ 導入のきっかけ



地域，社会が求めるこれからの公立高校の使命とは？

公立学校が地域で存続できるかどうかの瀬戸際，という危機感

# まとめ 気高定時としてできること

今回学んだ事

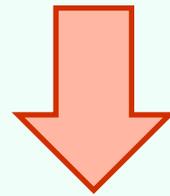
カリキュラム  
マネジメント

アクティブ  
ラーニング

インクル  
教育

地域との  
連携

評価方法



+ 気高定時の現状

気高定時が求められるこれからの使命とは？